

2024 年度

事業計画書

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター

(法人番号 9010405016615)

目次

2024 年度事業計画	1
1. 認定審査の質及び認定機関としての信頼性の維持向上	1
2. 認定事業の着実な実施	2
3. 認定の価値及びサービスの質の向上	2
4. 国際的な活動への参画	3

2024 年度事業計画

一般社団法人として 2018 年に設立された当センター（以下「ISMS-AC」という）は、今年 7 年目を迎える。

従来より、「我が国における情報分野のマネジメントシステムの適合性評価制度の信頼性（トラスト）を確保するため、国際規格で定められた公平性、独立性、透明性の原則の下で、効率的かつ有効な認定業務を実施する。」との方針に基づき、認定事業を実施して、着実に成果をあげてきた。

2024 年は、ISMS-AC が認定対象としている情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証基準が JIS Q 27001:2023（ISO/IEC 27001:2022）へと改定され、ISMS を運用する組織の移行が本格化する。

また、AI（Artificial Intelligence）のビジネス活用が急速に拡大するとともに、プライバシー侵害、フェイクニュース、著作権問題など様々なリスク認識が広がっていることから、AI マネジメントシステムに関する国際規格である ISO/IEC 42001 の活用への期待が高まっている。

他方、グローバルな活動を行っているマネジメントシステムの認証機関における海外の認定機関への集約化の動きも出ており、ISMS-AC としては、国内認定機関による認定の価値の意義を対外的に発信することなどにより、特に ISMS の認証機関の認定数を維持するための一層の努力が重要である。

上記を受けて、ISMS-AC の 2024 年度事業計画として、下記を定める。

1. 認定審査の質及び認定機関としての信頼性の維持向上

(1) 認定審査の質の維持向上

将来に亘って認定機関としての活動の質を維持・向上するために、新規要員の育成に注力する。また、月次の認定審査員研修を継続するとともに、外部研修への参加や専門家講師の招聘等によって、最新動向の把握や専門知識の習得に努める。

(2) 認定機関としての信頼の維持向上

認定機関に対する要求事項である ISO/IEC 17011 を遵守し、内部監査等で不適合や改善事項が検出された場合には、その原因を特定して適切に対処して、公平かつ客観性、一貫性のある認定事業の運営を推進する。

(3) 認定及び適合性評価に関する適切な情報発信及び問合せ対応

ISMS-AC が認定した認証機関の認証を取得した組織に関する情報が経済・社会で広く活用されるよう、認証機関から提出されたデータを基に登録組織データベースを更新し、ISMS-AC の Web サイトを通じて、認証取得組織に関する検索機能の公開を継続する。

また、日本認定機関協議会(JAC)、特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ

協会（JNSA） 日本 ISMS ユーザグループ等との協力のもとで適合性評価に関する最新動向等の情報発信を積極的に行う。

さらに、認証機関、認証取得組織、利害関係者等からの苦情・相談等を含めた問い合わせに適切に対応する。

2. 認定事業の着実な実施

(1) 国際規格に基づいた認定事業の実施

国際規格及び IAF（International Accreditation Forum：国際認定フォーラム）等の MD/ID 文書等で定められた基準に基づいて認定審査を適切に実施する。適合性評価に係る基準に際しては、速やかに対応する。

(2) ISO/IEC 27006-1:2024 への対応

ISO/IEC 27006-1:2024 への認定機関としての対応を速やかに行うとともに、認証機関の移行が期限内に完了するよう、移行確認の認定審査を計画的に実施する。

(3) 気候変動に関する要求事項を追加したマネジメントシステム規格の追補発行への対応

ISMS-AC が認定した認証機関及びその機関から認証を取得した組織が、着実に追補への対応が行えるよう適切な情報発信を行う。

(4) デジタル活用を通じた業務の効率化

デジタル技術の発展に応じて、認定事業に関する業務システムの改修を実施するとともに、クラウドサービス等を活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進する。

3. 認定の価値及びサービスの質の向上

(1) 認定に基づく認証の普及拡大

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）による情報分野のマネジメントシステムに関する普及啓発活動との連携の下、認証取得組織及びその顧客等を対象に、認定に基づく認証の価値を示す広報活動に取り組む。

(2) 認定へのニーズに基づく事業展開

情報マネジメントに関する認定事業全般に対する社会のニーズを把握して、ISMS-AC が認定対象としている認証に関する認定の質の向上に努めるとともに、新たな認定サービスとして AI マネジメントシステムに関する国際規格（ISO/IEC 42001 及び ISO/IEC 42006）に基づく認定の開始に向けての検討・準備を行う。

4. 国際的な活動への参画

(1) IAF 及び APAC の活動

IAF 及び APAC (Asia Pacific Accreditation Cooperation: アジア太平洋認定協力機構) の各種会合における、認定・認証の国際的な整合化を図るための認定基準及びガイダンスの作成に係る議論への参画、及びピアエバリュエーション活動への参加を通じて国際相互承認を推進する。また、IAF 及び APAC で策定される基準及びガイダンス等について、日本マネジメントシステム認証機関協議会 (JACB)、公益財団法人日本適合性認定協会 (JAB) 等との協力の下で、国内における適切な情報発信に取り組む。

(2) ISO/CASCO の活動

ISO/CASCO (Committee on conformity assessment : 適合性評価委員会) における規格開発・改訂作業に参加し、各国における認定・認証制度の一貫した運営のためのルール作りに貢献する。

(3) 国際的な活動成果の情報発信

国際的な活動の成果を、広報活動の一環として発信することにより、ISMS-AC の認定機関としての存在価値を高める。

以上